

令和2年2月10日  
産業経済委員会提出資料

## パブリックコメント意見募集の結果公表

第6期帯広市農業・農村基本計画（原案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。寄せられたご意見等について検討した結果、パブリックコメントを踏まえた修正は行わず別紙のとおり最終案とします。

### 【意見募集結果】

案 件 名	第6期帯広市農業・農村基本計画（原案）		
募 集 期 間	令和元年11月27日（水）～ 令和元年12月26日（木）		
意見の件数 （意見提出者数）	5件（2人）		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	0件
	参考	今後の参考とするもの	5件
	その他	意見として伺ったもの	0件
意見の受け取り	持参		1人
	郵送		0人
	ファクス		0人
	電子メール		1人

### 【意見等の内容】

No	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
1	【第4章 2 多様な経営体の育成・支援】 「生産技術向上支援」に対するものとして、各種研修の実施が最も重要と考える。単位施策である「担い手の育成・確保」や「先進技術などの導入促進」を連動させた研修を通じて、農業者の様々な要望に応えるものになるといい。	1件	【参考】 本市ではこれまで、担い手に向けた経営力強化や先進技術の活用などに係る各種研修を実施してきました。 今後も農業者のニーズを踏まえた担い手の育成・確保などに取り組んでいく考えであり、ご意見の趣旨は施策を推進する上での参考とします。

No	市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
2	<p>【第4章 3 国内外の市場ニーズを見据えた農畜産物の生産】 「安全・安心で良質な農畜産物の生産」においては、GAP や有機 JAS などの認証を取得することなどが不可欠と思う。これらに関する講習会などの充実、認証取得に関する事務手続きや費用などに関しても、今まで以上に支援を講じる必要があると思う。</p>	1 件	<p>【参考】 本市ではこれまで、担い手に向けた GAP などの理解促進に係る研修を実施してきました。今後も国内外の消費者ニーズを踏まえ、GAP などの認証制度の普及をはじめとした安全・安心で良質な農畜産物の生産に取り組んでいく考えであり、ご意見の趣旨は施策を推進する上での参考とします。</p>
3	<p>【第4章 4 魅力あふれる農村づくり】 消費者の農業理解や食育の促進の取組を更に拡大してほしい。</p>	1 件	<p>【参考】 本市ではこれまで、イベントなどの様々な機会を通じて、地域農業に対する理解促進や食育の普及などに取り組んできています。今後も、生産者と消費者の交流促進などの取組を行っていく考えであり、ご意見の趣旨は施策を推進する上での参考とします。</p>
4	<p>【第4章 6 ばんえい競馬の振興】 ばんえい競馬を大切な農業遺産として絶対に残してほしい。また、ふれあいや交流事業、ばんば馬車などの方向性を更に拡大強化して、今以上に市民に親しまれる馬文化の展開を進めるべきと考える。</p>	1 件	<p>【参考】 ばんえい競馬は、北海道開拓の歴史を今日に伝える貴重な文化遺産であるとともに、地域経済の活性化にも寄与しており、重要な地域資源となっています。今後も、PR 馬を活用したばん馬とのふれあいや交流事業などを通じて、市民理解を醸成し、馬文化の伝承やばんえい競馬の振興を図っていく考えであり、ご意見の趣旨は施策を推進する上での参考とします。</p>
5	<p>【計画全般】 帯広市内の農業者が安心して農業を続けられるよう計画を推進してほしい。</p>	1 件	<p>【参考】 農業者が安心して営農を続けていくことができるよう、今後も生産基盤の整備や担い手の確保などを通じて、本市の農業・農村の持続的な発展を図っていく考えであり、ご意見の趣旨は施策を推進する上での参考とします。</p>

【案件の最終案】

別紙のとおり